

「忍川・酒巻導水路」川の国埼玉はつらっプロジェクト
平成30年度まちづくりの取組み（抜粋）

資料1

○行田創生RPG開発事業（市内回遊性の向上）
行田市を舞台としたスマートフォン用ゲームアプリを配信しています。
市内事業者の協力を募り、実店舗で利用できるクーポンの配布や、GPS機能を活用した市内スポット（小幡沼、翔栄橋、弁天門樋など）とのリンクを行うなど、ゲームを通じた回遊性の向上を図っています。



○観光レンタサイクル事業（市内回遊性の向上）
・自転車利用による市内回遊の促進
行田市観光案内所及び行田市バスターミナル観光案内所にて事前予約が可能。
・行田サイクルサポーターズ事業
市内の自転車販売店・コンビニ等で構成。（35店舗加盟）観光案内図の配布やトイレの提供などを実施。



○おぎよだ観光ポタリング事業（水辺空間の活用）
※平成30年4月～12月開催

①旧忍町信用組合店舗の移築・改築（賑わいの創出）

大正11年建築で、日本遺産の構成資産の一つでもある「旧忍町信用組合店舗」の移築・改築を行いました。
9月22日にカフェとしてオープンし、市民や観光客の皆様の憩いの場・行田の魅力発信の場として活用されています。



②歴史的街路整備事業（賑わいの創出）

行田市駅周辺の歴史的建造物が集積したエリアにおいて、石畳風の舗装を施す等、行田ならではの地域資源を活かした街路整備を進めています。
本事業のうち平成30年度は、八幡通りの石畳舗装整備が完了予定です。



③せせらぎ歩行空間整備事業（賑わいの創出）

歴史と文化の薫りが漂う歩きたくなるまち並みを創出し、快適性や回遊性の向上を図るため、浮き城の径～バスターミナル駐車場にかけて、歴史的資源の保全・活用に配慮した、せせらぎ歩行空間の整備を進めています。
平成30年11月までに全区間の整備が完了予定です。

